

平成29年度第2回学校保健総合支援事業連絡協議会の報告について

1 開催期日・場所

平成30年2月16日（金） 於：岐阜県シンクタンク庁舎

2 概要

- ・平成29年度事業報告
- ・成果と課題について

3 委員会における協議内容

(1) 平成29年度事業報告

① 講習の内容

心臓疾患：6回

てんかん、発達障がい、性に関する指導、食習慣、がん：各1回

② 講習会の対象

養護教諭対象研修会…6回

養護教諭・保健主事対象研修会…2回

養護教諭・保健体育科教諭等対象研修会…1回

地域学校保健安全委員会…2回

(2) 委員会で出された主な意見

- ・LGBTやスマートフォンの普及による生活習慣の乱れ、アレルギー等、保護者や教職員の世代が子供の頃に無かった健康課題に直面している。それらの課題を解決するのは困難であるが、正しい知識や適切な対応について医師会等は今後も専門家の派遣要請に応えていきたい。
- ・一方で、これまでも対応してきた感染症の拡大防止や疾病についても、若い教員の増加や新たな対処方法が確立されていること等から、定期的なサイクルで研修を行うことが大切である。今年度の心臓疾患の講義のように、県として共通理解を図ることや、講義の内容を例示していくことも大切である。
- ・心臓疾患に比べ、腎臓疾患の意識が低いため、検尿後の精密検査をなかなか受診しないことがある。検尿によって、将来の腎疾患を早期に発見し、治療ができたり、透析を遅らせたりすることができる。検診の重要性や疾病について、保護者が正しく理解できるような機会を県が意図的につくるべきではないか。